

ブンガワンソロ (1951)

メディア 映画

ジャンル ドラマ

製作国 日本

色彩 B&W

時間 93分

初公開日 1951/10/19

【解説】

金貝省三の原作を市川崑が和田夏十とともに脚色し監督した戦争悲話。市川崑が新東宝で撮影した最後の作品。

1945年8月、ジャワの村落に三人の日本軍脱走兵が現れた。そのうちのひとり野呂はひどいマラリアに感染しており、村落の家に住む娘サリヤが看病してくれた。妹のカルティニはすぐに三人の日本兵と仲良くなった。そしていよいよ出発が近づいてきたとき、深見がサリヤのために村に残ると言い出した。しかしちょうど同じ時に、足をケガした小田切軍曹がやってきた。彼もまたサリヤたちの看病を受けたが、やがて本物の憲兵隊が脱走兵を追って村にやってきた。サリヤは市場へ行くふりをして、マラリア熱にやられた深見を馬車に乗せて逃してやるのだったが…。

【クレジット】

監督 市川崑

製作 佐藤一郎

製作補 岡本良介

原作 金貝省三

脚本 和田夏十

市川崑

撮影 横山実

美術 河野鷹思

編集 長田信

振付 三橋蓮子

音楽 飯田信夫

特技 上村貞夫

助監督 須崎勝弥

出演 池部良 深見伍長

森繁久弥 武上等兵

伊藤雄之助 野呂上等兵

藤田進 小田切軍曹

久慈あさみ サリヤ

若山セツ子 妹カルティニ

小沢栄 父スヘルマン

高橋豊子 母アイシャ

田崎潤 参謀少佐

岡龍二 参謀中尉

山形勲 憲兵曹長

| | |
|-------|--------|
| 中原謙二 | 憲兵上等兵A |
| 沢村昌之助 | 憲兵上等兵B |
| 水城四郎 | 憲兵上等兵C |
| 山川朔太郎 | カシム |
| 和田潜 | スマルト |
| 村上美代子 | 村の女 |